

令和6年度学校評価計画書

廿日市市立七尾中学校

評価計画					自己評価					学校関係者評価 コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間 8月	最終 2月	達成	評価	結果と課題の分析		
グローバル社会に求められる、基礎的な知識・技能の習得と主体的に学び課題を解決する力及び思考力・判断力・表現力を育成する。	◎課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒を育成する。(市共通項目)	○「シンプル(焦点化)」「シェア(共有化)」「ビジュアル(視覚化)」の視点がある授業づくりを行う。 ○個別最適な学びを実践する重点単元を設ける。	授業で、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う生徒の割合、35%以上。(学校アンケート:よく当てはまる)	35% (37.1% R5 最終)							
	○生徒が自分で考え、判断し、表現できる生徒を育成する。(小中共通)	○教師が学びの伴奏者(ファシリテーター)として機能する。	「理由をつけて考えを説明、表現することができている」と回答した生徒を80%以上にする。(小中共通)	80% (78.80 R5 最終)							
お互いに認め合える集団づくりを進め自己有用感を高めることによって、問題行動の未然防止を図るとともに学ぶ意欲高める。	○生徒の自己有用感が高まり、お互いのよさを認め合うようになる。(市共通項目)	○縦割り清掃等の生徒会活動、学校行事、学級活動を通して、生徒に活躍の場を提供し、生徒による評価活動を行う。	自分のよさは、まわりの人から認められると回答した生徒の割合を70%以上にする。(市共通項目)	70% (81.0% R5 最終)							
	◎不登校生徒を減少させ、SSR等を含めた居場所づくりを行う。(市共通項目)	○教育相談委員会を通して、SSRの運営や不登校生徒の実態について情報共有を行い、個に応じた指導を行う。	不登校生徒の割合を全校生徒8%以下にする。	8% (7.5% R5)							
教職員の子どもと向き合う時間を確保し、教職員が健康でやりがいをもって勤務できる環境をつくる。	◎働き方改革を推進し、長時間勤務を縮減する。(市共通項目)	○月の時間外在校時間45時間を意識し、企画委員会で随時、校務の見直しと点検を行う。	子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教職員の割合を70%以上にする。(市共通項目)	70% (68.2% R5 最終)							
			時間外勤務時間が月平均45時間を超える教職員の割合を50%以下にする(市共通項目)	50% (40.0% R5 通年)							

評価規準：目標値に対する達成度 A：100%以上 B：80%以上 C：60%以上 D：60%未満 (※「◎」本年度の重点項目)